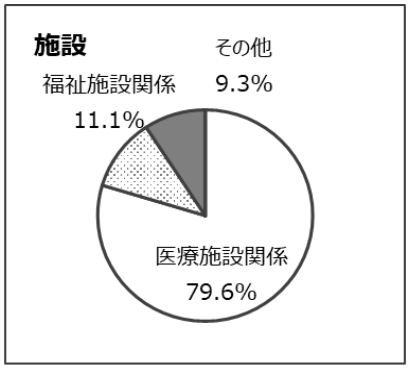
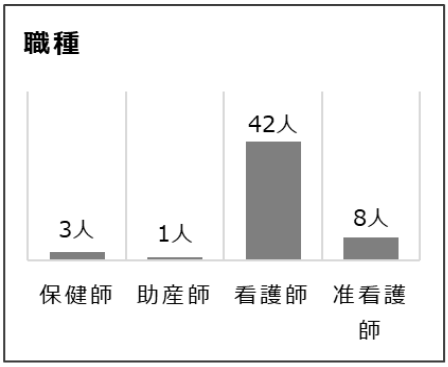
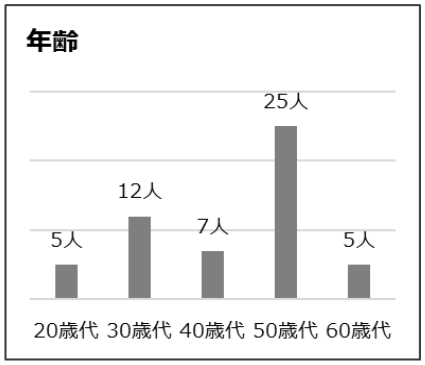
R4年度　福祉施設・医療施設等に働く看護職員研修・交流会

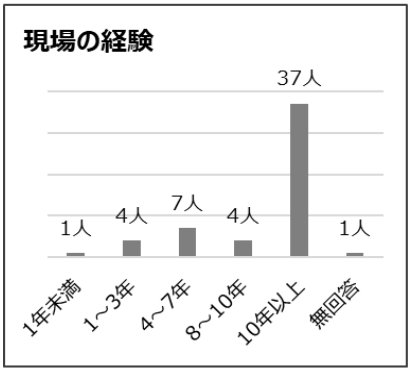
目的：福祉施設・医療施設等に働く看護職員の交流を通じて、勤務する施設外における仲間づくり、ネットワーク化を図ることで離職防止を図る。

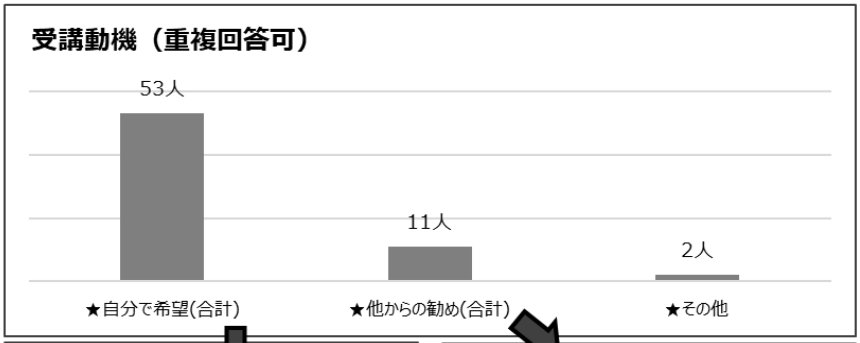
開催日	研修内容	受講者数	会場
7/30	身体拘束	15	キャリア
10/8	認知症	11	キャリア
12/10	糖尿病看護	6	ながさき看護センター
1/7	高齢者看護	10	キャリア

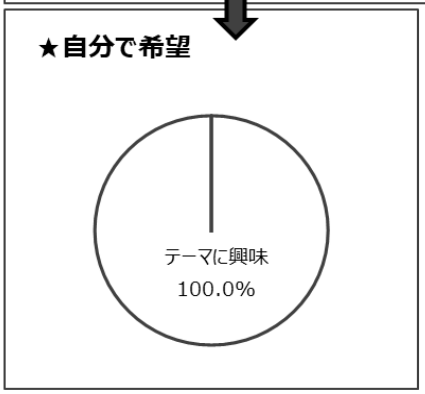


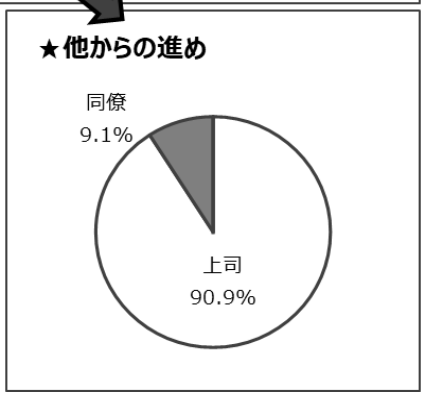






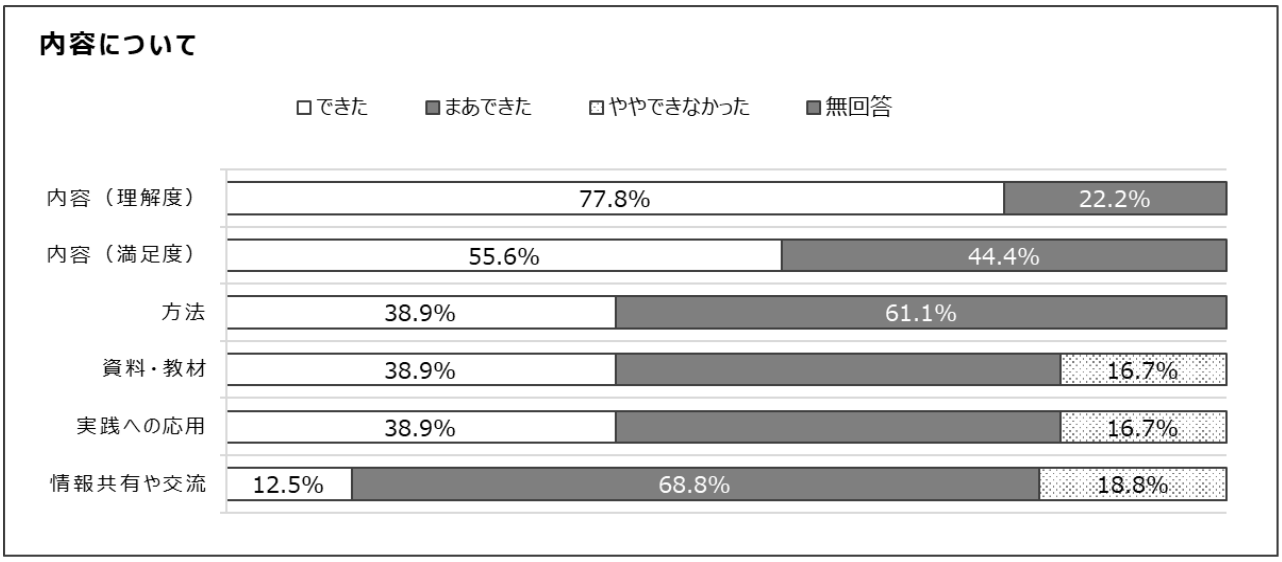


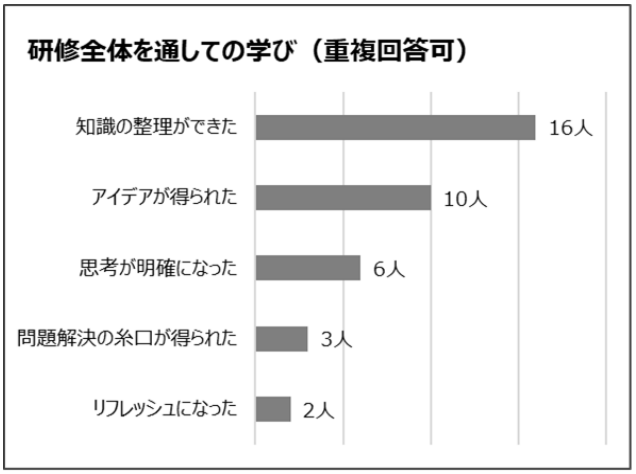


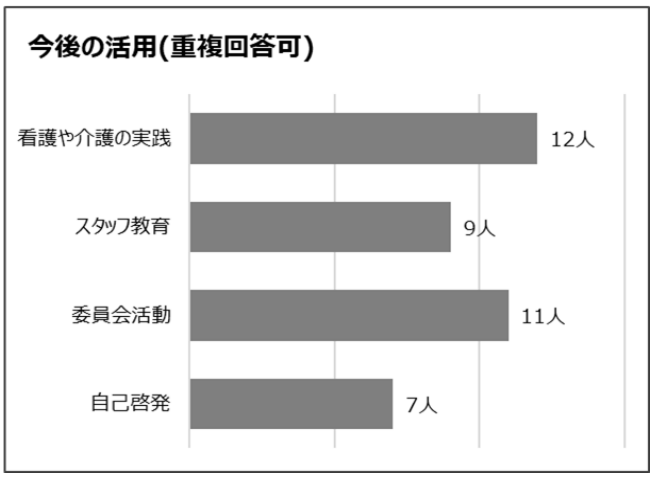


第1回

ほんとうにその身体拘束必要ですか？

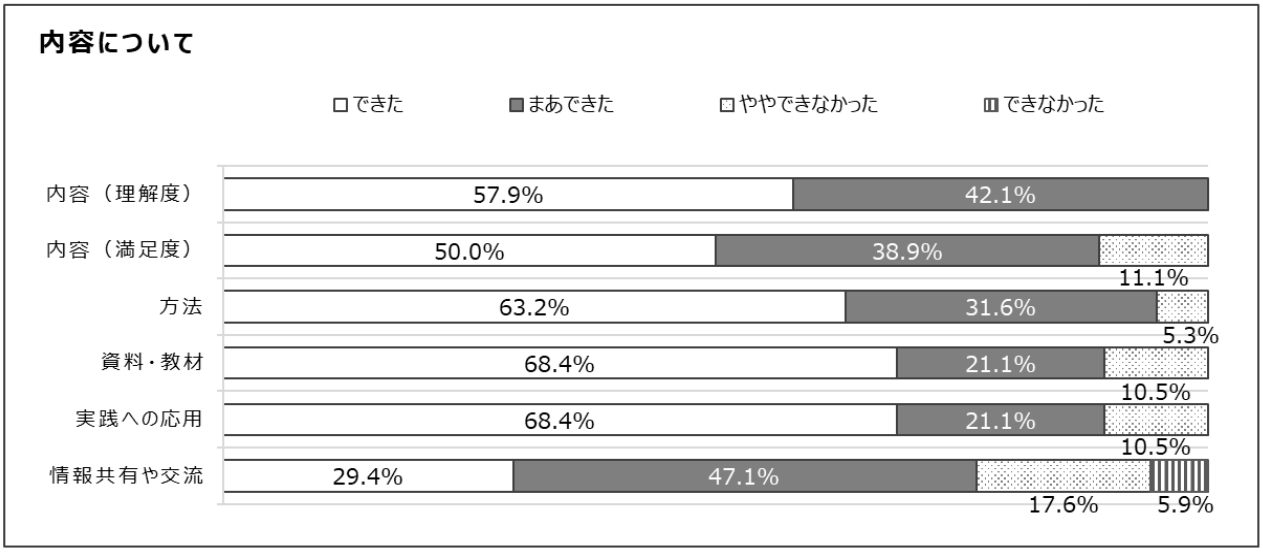


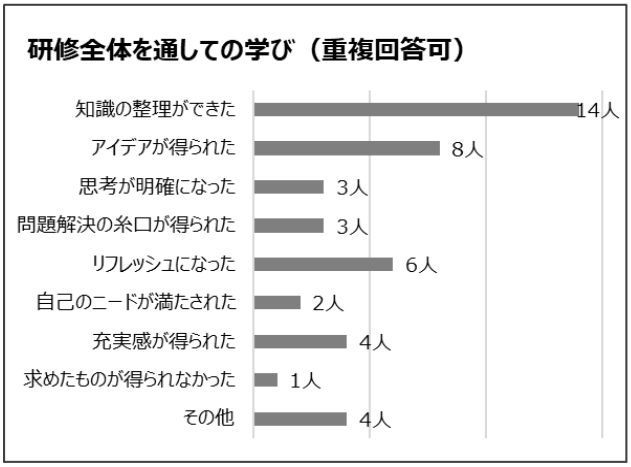


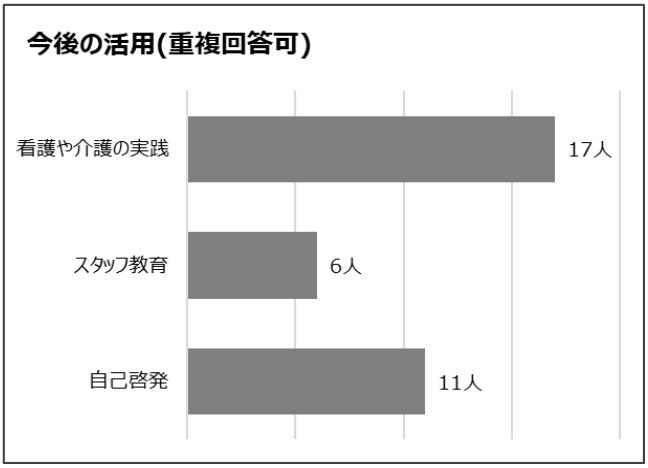


第2回

事例から学ぶ認知症ケア



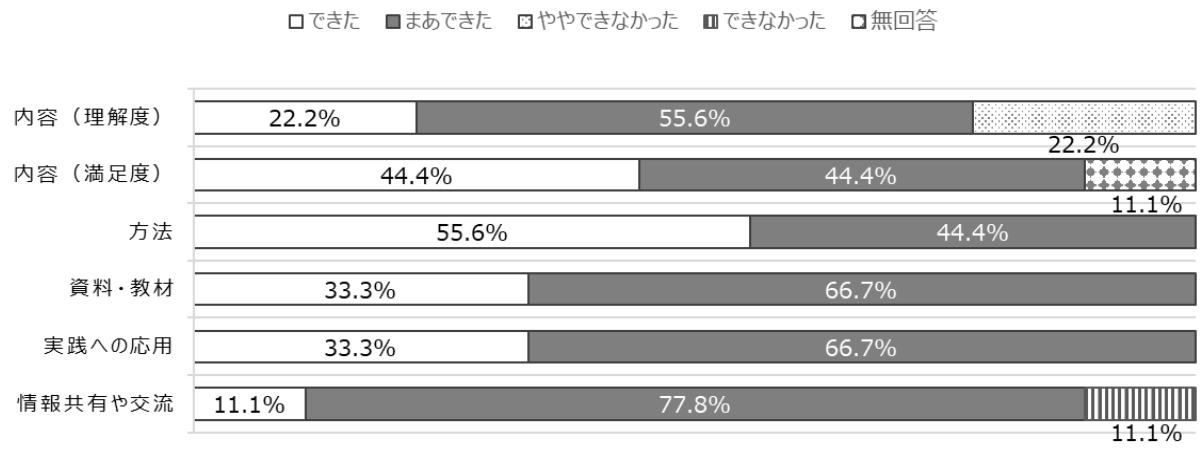




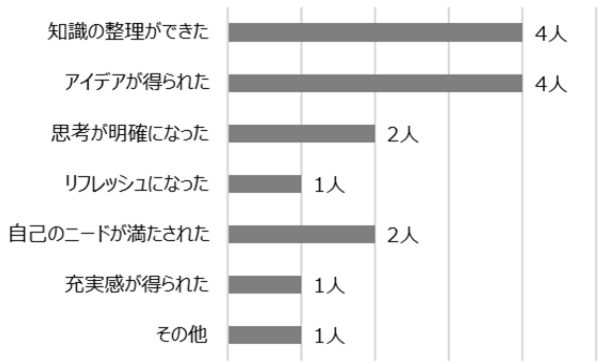
第3回

糖尿病の最新の話題　～患者の生活を支える看護の基本～

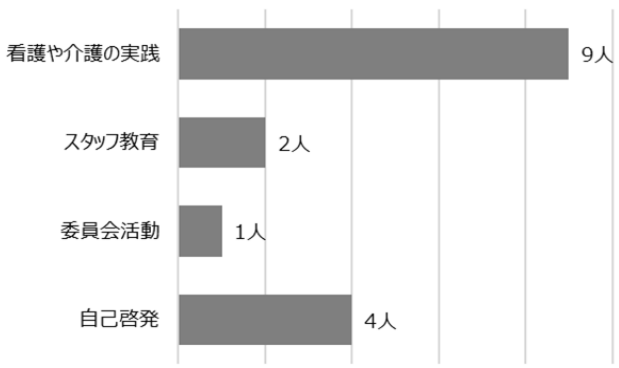
内容について



研修全体を通しての学び（重複回答可）

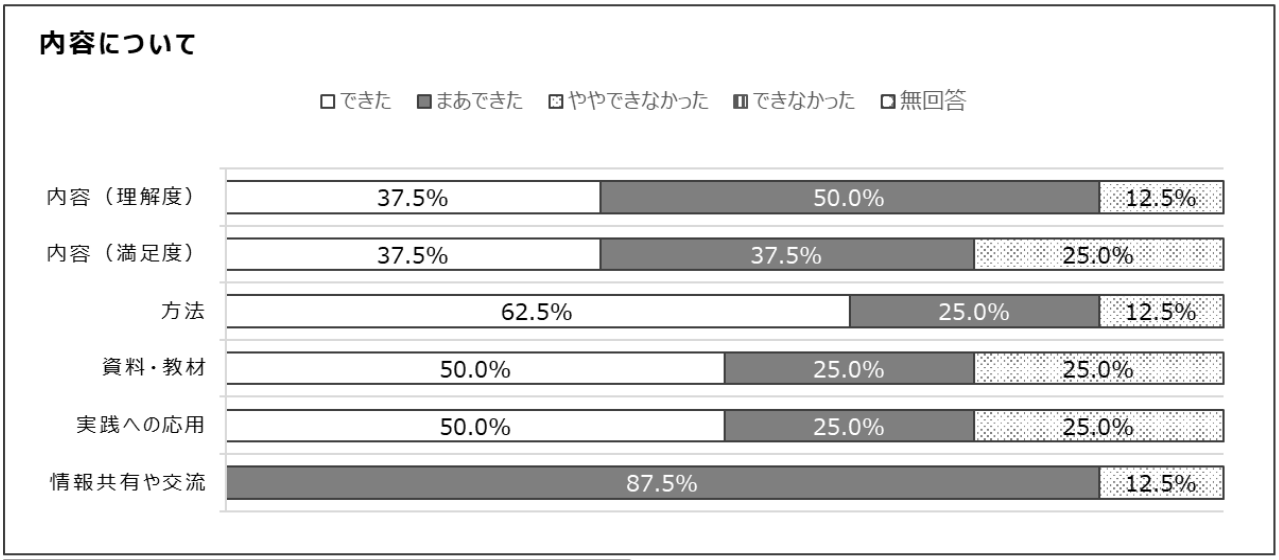


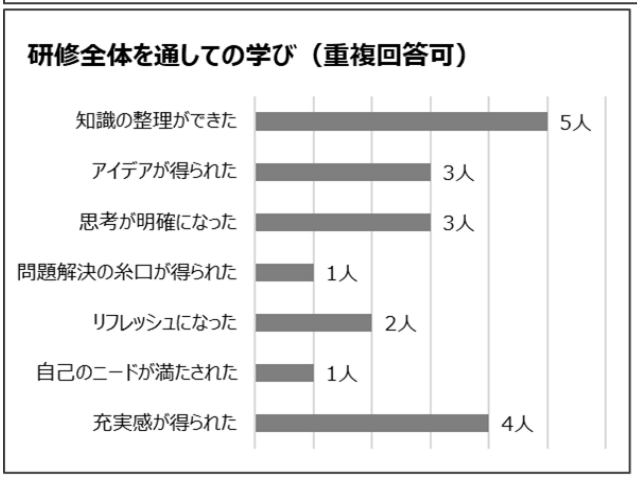
今後の活用(重複回答可)

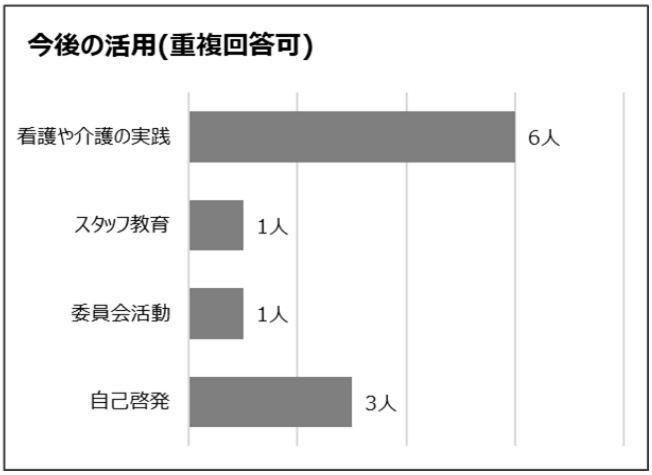


第4回

高齢者の暮らしを支える看護の力　～高齢者が利用する施設におけるケアの実際と看護職連携～







受講者数	64人
回答者数	54人
回答率	84.4%

※離島就業看護職員研修（配信研修）22名含む

※割合の合計は四捨五入の関係で100%とならない場合もあります。

地区別	県央	県南	県北	離島	計
	8	8	26	22	64

職種別	看護師	准看護師	保健師	不明	計
	37	9	3	15	64

施設別	病院	クリニック	福祉施設	その他	計
	35	14	11	4	64

研修評価

今年度は、当センターで3回、ながさき看護センターで1回、計4回開催した。19施設より、のべ42名が受講した。内訳として、医療施設より12施設（病院7施設、クリニック5施設）、福祉施設より6施設、その他1施設、地区別にみると、県南地区8名、県央地区8名、県北地区26名で、職種は保健師・助産師・看護師・准看護師、年齢は20歳代～60歳代と幅広かった。また、今年度は離島へ配信も行い、２施設より、のべ22名の参加があった。研修後アンケートでは、毎回、研修の理解度や満足度は高評価で、知識の整理ができ、今後の看護実践やスタッフ教育に活用したいという意見が多かった。また、医療施設と福祉施設の看護職員とのグループワークでは、情報を共有しながら、自施設のことを振り返る機会につながった。次年度も交流が深められる内容としたい。